

広報

ただみ

1
2010 月号
No. 476
平成22年1月10日



今月の表紙

春6月に採取し乾燥保存しておいた「イワシバ」が正月を迎える「しめ飾り」に姿を変えた。只見地区センターで12月13日に開かれた講座には20名が参加。縁起の良い左よりという独特の編み方で思い思いに正月飾りを完成させた。

只見町長・議会議長

年頭のごあいさつ 2~3

只見町の経済対策事業について 他	4~5
只見スキー場オープン式 他	6~7
町の話	8~9



年頭のごあいさつ

New Year's greetings



住民との協働による町づくり

只見町長 目黒吉久

新年明けましておめでとうございませう。町民の皆様におかれましては、つつがなく輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。この機会に、日頃町政にお寄せ頂いておりますご支援ご協力に対し心から感謝申し上げます。

昨年は、世界的な金融危機に端を発した厳しい経済情勢により、私どものような中山間地域への影響は大きく、生活や生産の現場でも不安を抱え閉塞感が漂いました。今なお国、地方ともに経済不況と雇用不安の状況から抜けきれないでいます。このような中で昨年、只見町は町制施行五十周年を迎えました。町は、この記念すべき節目の年を、町制施行五十周年記念の年と位置付け、町民の皆様と共に五十周年を祝い、更なる町政発展を期するため年間を通して記念事業を実施してまいりました。町の誕生日である八月一日には、多くの町民の皆様と来

賓のご臨席のもと「町制施行五十周年記念式典」を挙行し、更なる町勢発展に向けて町民の皆様と手を携え最善の努力をして参る決意を新たにいたしましたところでありませう。

私は、五十年に及ぶ只見町の歴史を振り返るとき、先人のご努力に対し深く敬意と感謝を申し上げますと共に、これまで受け継がれてきた、自然・歴史・文化・暮らし・産業などの地域特性を活かした山村に住む者として、本来の人間としての誇り、地域としての価値観を築き、内発的な産業を興してゆく事が大切であると考えます。そのため次のような政策を柱に取り組みます。

第一は「農業を中心として、商・工・観光業への連鎖を引き起こす付加価値の高い産業の構築」です。そのために、農業の担い手確保と周年栽培の可能性を求めて、耐雪型施設の設置と試験栽培に取り組むたいと考えま

す。又「ただみ・ブナと川のミュージアム」を拠点に、観光まちづくり協会など関係機関と協力をしながら、本町の豊かな自然を活かして人・観光交流施設・資源の連携強化を進め、集客力の向上を図ります。

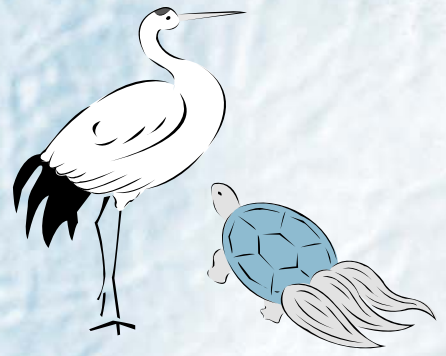
第二は、「次代を担う子どもたちの健やかな成長を願い、「自然首都・只見」にふさわしい人づくり教育の推進」であります。地域づくりは人づくりにあるといわれる中で、本町の豊かな自然を活かしながら、逞しい精神と身体を備えた只見っ子を育てていきたいと考えます。更にはその成果を都会へ向けて伝える機会をつくり、本町が「自然環境教育」の拠点となるべく教育旅行の推進を図って参りたいと考えます。

第三は、「保健・医療・福祉が一体となった元気なまちづくりの推進」です。乳幼児からお年寄りまで、全ての住民が住みなれた地域で健やかに、生きが

いを持って、安心した生活を送るために関係機関の連携による地域包括支援システムの構築を推進して参ります。また、地域医療の中核である朝日診療所は現行の医師三人体制を堅持しながら、安心して診療を受けられるように、更なる機能の充実を図ってまいります。

町長に就任して二年が過ぎました。町民から負託された事実の実現のために、町民の皆様と共に力を合わせ、住み良い町づくりに真剣に取り組み、その実現に全力を傾注して参る所存でありますので、町民各位のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、平成二十二年の皆様にとりまして素晴らしい一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



町民の命と暮らしを守る

町づくり

只見町議会議長 齋藤 邦夫

新年明けましておめでとうございませう。只見町議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、只見町は、「町制施行五十周年記念式典」を始め、一年間にわたって各種記念イベントが実施されました。私達は、先人の町づくりに対する情熱を忘れることなく、記念すべき節目の年に、町勢の限らない発展を誓い、決意を新たにしました。さて、国・内外に目を向けると、自然災害を誘発する地球温暖化の問題や、新型インフルエンザが全世界に猛威を振るい、また、国政は民主党が圧勝し、地域主権、脱官僚政治を掲げた鳩山内閣が誕生いたしました。行政刷新会議による事業仕分けやマニフェストの実行を国民は期待し、新しい年明けを迎えま

した。国内経済は、一昨年来の世界同時不況の影響を受けて、国の追加経済対策にも係らず著しい円高や株安が進行して、先行が不鮮明となりました。

本町の産業経済は、長年にわたり町民所得の場として依存してきた公共事業の大幅縮小、農産物の価格低迷、更には観光客の減少など、「景気の停滞」が続いております。基幹産業である農業は、天候不順にも係わらず、米、トマト、花きの作柄は平年作を保ちましたが、年々進む生産者の高齢化、新規参入者対策など、今後の農業振興を図る上で避けて通れない大きな課題と考えます。一方、新たな観光交流の拠点として「ただみ・ブナと川のミュージアム」が開館いたしました。只見の貴重な自然が都市と山村の人々の交流や、児童生徒の教育の場として注目され、環境保全と併せた地域づくりが、要請されているも

のと考えます。また、朝日診療所は、昨年四月から常勤医師三名と更に整形外科医の外来診察や、歯科診療と合わせて一段と充実して参りましたので、長年の懸案である保健、医療、福祉が連携する町民サービスの向上が期待される処であります。

さて、町政は明るい未来を展望すると共に、着実な施策の実行が望まれます。只見町は、国道二八九号・八十里越の開通によつて、日本海経済圏と太平洋ベルト地帯を結ぶ奥会津交通の要衝として、地域発展に与える「インパクト」が大変大きいため、関係市町村が一丸となつて、早期開通を実現し、只見町に明るい未来と可能性を切り開いて行かなければならないと考えます。また、本町経済の自立をめざして、地域資源を活用した第六次産業の振興と、少子高齢化に起因する出産育児、教育環境、高齢者福祉、更には集落コミュ

ニティ対策など、当面する町民生活に密着した、実効性の高い施策の推進が急務と考えます。

さて、地方分権社会が進む中で、自治体の運営は、「自己決定・自己責任」が求められる、議会は意思決定機関として、その役割と責任が益々重くなつて参りました。只見町議会は、他町村に一步先駆けて「通年議会」を試行し、議案の慎重かつ迅速な審議に努めるなど、議会の役割を果たすための改革に取り組んでおります。議会は町当局と共に町政を担う両輪として、「町民の命と暮らしを守る町づくり」を目指して、議員一同、誠心誠意努力して参る所存でございますので、町民皆様のご指導・ご支援を宜しくお願いいたします。結びに「新しい年」が、皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう、お祈り申し上げます。頭のご挨拶といたします。

「活気ある町に！」

只見町の経済対策事業について



森林の里応援団はコミュニティビジネス支援事業を利用し、農地の再生のためアワ、ヒエの雑穀を栽培

世界的な経済不況の中、町では平成21年度、経済対策事業としていろいろな取組みをしています。主な事業の概要をお知らせいたします。

①只見町無料職業紹介所

12月22日から産業振興課内に無料職業紹介所を開設しました。紹介所では、働いてくれる人を求める事業主(求人者)と、働きたい人(求職者)の申し込みを受け付けています。

そして、求人者と求職者の雇用関係の成立をあっせんしていきます。

只見町は冬期間、雪のため屋外での仕事が少なくなり、求人も減ります。厳しい経済状況の中ですが、事業主のみならずには、求人者の申し込みをお願いいたします。

また、紹介所では、ハローワーク南会津と連携し、南会津郡内の求人情報も提供しております。▼問い合わせ 只見町無料職業

紹介所(産業振興課交流推進班)
☎0241-8215240

②只見町コミュニティ・ビジネス支援事業

住民主導で取り組む地域の公益的な事業を支援しています。地域課題の解決に向けた取組みと雇用の創出を主な目的としています。

今年度は、下表の3団体の事業が、選定委員会で選定され、おこなわれています。

③只見町中小企業長期振興資金

10月1日付けで、只見町中小企業長期融資保証実施要綱及び只見町中小企業長期融資制度信用保証料補助金交付要綱を一部改正しました。

この改正により、資格要件に該当していれば、融資の信用保証料が全額町補助となり。ただし、平成22年3月31日まで

事業名	団体名	主な事業内容	雇用人員
都市との交流による地域再生実践事業	森林の里応援団	①休耕田・荒廃農地の再生 ②地域の物産づくり ③頒布事業 ④グリーンツーリズムの推進	1人
地域資源を活用したビジネス創出事業	只見町観光まちづくり協会	①教育旅行・子ども農山村漁村交流 ②只見物産販売 ③ガイド研修と実施 ④郷土料理「お平」の商品化 ⑤協会の法人化等 ほか	2人
はじめるきっかけTCCプロジェクト	ただみコミュニティークラブ	①スポーツ教室事業 ②イベント事業 ③交流会事業 ④ボランティア活動事業 ⑤学校支援事業 ほか	2人

雪まつりで日本を元気にしよう!

右を見ても左を見ても、不景気といわれ、歩く姿勢もどことなくうつむき気味になっていませんか。こんな時こそ胸を張り、只見の雪まつりから元気を日本全国へ発信しましょう。

「冬来たりなば春遠からじ」、さあ雪まつりを楽しみましょう。今年のスケジュールは次のとおりです。主会場は只見駅前広場です。

第38回 只見ふるさとの雪まつりプログラム

■2月12日(金)

19:00 大雪像ライトアップ

■2月13日(土)

9:45	自衛隊音楽パレード
10:00	開会式(福餅まき)
10:30	梁取太々神楽
11:20	自衛隊音楽隊雪中演奏
12:00	郷土芸能発表会
13:30	ゲームイベント
14:30	もとやまレース福島大会
16:30	ゲームイベント
17:30	雪中大神輿・キャンドルナイト点火
18:30	厄払いの儀、おんべ
20:00	歓迎花火大会
21:00	第1日目終了

■2月14日(日)

10:00	キャラクターショー
11:00	郷土芸能発表
13:00	ゲームイベント
14:00	ジブショー(スキーパフォーマンスショー)
15:00	キャラクターショー
16:00	ゲームイベント
17:00	カラオケ大会・キャンドルナイト点火
18:00	バンドコンサート
19:00	ジブショー(スキーパフォーマンスショー)
19:30	天領只見仙嶽太鼓
20:00	祈願花火大会・町民花火
21:00	第2日目終了

【サブ会場】 只見スキー場

■2月13日(土)~14日(日)

10:00	スノーモービル体験 (2月13日(土)~14日(日)開催)
13:30	スノーシュー体験 (2月14日(日)のみ開催)

【サブ会場】 只見地区センター

■2月13日(土)

14:00	只見音研ショー
-------	---------

●フォトコンテスト・ミニ雪像コンテスト、祈願花火にどんどん参加してください

▶問い合わせ 雪まつり実行委員会 ☎82-5240

只見町観光まちづくり協会はコミュニティビジネス支援事業で郷土料理「お平」の商品化に取り組んでいる



の契約分となります。

4 只見町誘致企業等雇用対策補助金

従業員50人以上を雇用している町誘致企業を対象に、雇用維持と企業振興を図るため、固定資産税の一定の割合を補助するものです。平成21年度のみ補助金です。

5 町単緊急雇用対策事業委託工事

町内の建設業者6社に、道路

の路面整備、側溝土砂撤去、路面清掃など19箇所の記事を委託しました。事業総額は約1千万円でした。

6 町制施行50周年緑の雇用対策事業

集落の里山道の維持補修や刈り払い整備をおこない13人を雇用しました。事業箇所は21箇所13,542m、事業費は約94万円でした。

7 史跡保存事業

布沢木地師集落跡の保全を図

るため、史跡の除草、除伐、境界の測量等をおこない5人を雇用しました。事業費は150万円でした。

その他にも町では、福島県緊急雇用創出基金事業、福島県ふるさと雇用再生特別基金事業に取り組んでいます。





▲ 体育館を見学する区長

只見地区区長連絡会では、只見地区にある公共施設などの活用を考えることを目的として、12月3日、旧只見中学校の施設を見学しました。

参加された区長は、只見・十島・塩沢・叶津・黒沢の5名で、施設の1階正面入口から体育館施設並びに校舎施設3階まで全ての部屋を確認し、より有効な活用について、意見を交換しながらの見学会となりました。

参加された区長からは、「このように立派な施設を空き公共施設としておくことは、もったいない。何か活用手段を」などと感慨深く感想が述べられました。

只見地区区長連絡会では、今回の視察結果を各集落で報告され、意見を伺い、より良い施設利用計画を町（行政）に対し提案できるように、今後取り組んでいきたいということです。

只見地区の区長連絡会が実施 旧只見中学校施設見学会

叙位・叙勲

菅家作弥さんに 旭日単光章

元町議会議員の菅家作弥さんへの旭日単光章の伝達式が、12月22日に只見町黒谷の自宅で行われました。皆川誠司福島県南会津地方振興局次長の立ち合いのもと目黒町長から菅家作弥さんに勲記、勲章などが手渡されました。

菅家作弥さんは、昭和35年4月に只見町議会議員に初当選され、昭和47年4月まで通算3期12年間に在職されました。その間、経済常任委員会委員長や副委員長をはじめ、豪雪対策特別委員会副委員長を務められ、只見町議会及び地方自治の発展、



▲ 菅家作弥さん(右)と妻のトメヨさん(左)

町の振興に尽くされました。また、農業委員会委員として地域農業の振興や生産性の向上に努められ、民生委員・児童委員としても地域福祉の向上に貢献されました。

待望の雪が降り積もる中

只見スキー場オープン式



▲ 関係者によるテープカット

をいただきますよう、お願いいたします」とあいさつを述べました。

続いて、スタッフ紹介、その後、五十嵐源一郎振興公社監査役の発声で献杯が行われ、無事故と経営発展を祈願しました。最後に目黒千代作取締役ら関係者によるテープカットでオープンを祝いました。

今年ベストタイミングで雪が降り、今朝のスキー場での積雪が30センチメートルあり、19日にはリフト営業が行えると話すと話した。皆さん、只見スキー場をぜひご利用ください。

待ちに待った只見スキー場のオープン式が、12月18日に同スキー場で行われ、スキー場を経営管理する株式会社社会津ただみ振興公社の目黒千代作取締役をはじめ、関係者約30名が出席されました。

開所式では、目黒長一郎町体育協会会長が「只見スキー場は町内唯一のウインタースポーツ施設としてスキーやスノーボードなど広く皆様方に利用いただいています。このスキー場で技術を磨いた小中学生や高校生、一般の方が各種大会ですばらしい成績を収めています。スキー場スタッフの方々には、スキー競技発展のため、ご指導、ご支援



▲ グレンデ整備に余念のないスキー場スタッフ



▲ やさしい明かりに包まれた「喫茶・キャンドル」



▲ 圏外バンドのライブ

キャンドルの夜がロマンチック 喫茶・キャンドル

只見スキー場のオーブニングイベントとして、12月19日の午後5時から只見スキー場のレストランで「喫茶・キャンドル」が行われました。開始時刻に合わせて、ロッジの出入り口や階段、テーブル、窓際などに置かれた約500個の様々なキャンドルに明かりが灯され、キャンドルに彩られたレストランは、昼とは全く違った雰囲気

に包まれ、大人のムードを演出していました。この夜は、県外より只見に移住されたメンバーで結成された「圏外バンド」の皆さんによるバンド演奏も行われ、やさしい明かりの中での迫力ある楽曲に来場者は拍手を送りながら、演奏に浸っていました。このイベントは、100万人のキャンドルナイトin只見実行委員会（目黒道人委員長）が主催され行われたもので、この日は大雪の夜でしたが、大勢の来場者が姿を見せていました。

安心・安全な街づくりを推進 高齢者の交通事故防止俳句・短歌・川柳大会

南会津安心・安全な街づくり推進事業の一環で、高齢者の交通事故防止対策実行委員会の主催により「高齢者の交通事故防止俳句・短歌・川柳大会」表彰式が、12月15日に御蔵入交流館多目的ホール（南会津町）において行われました。高齢者の無事故に思いを込められた作品が多数寄せられ、只見町では次の皆さんが入賞されました。おめでとうございます。

- ▽俳句の部
 - 【最優秀賞】
年の瀬やゆつくり雪の交差点
菅家吉次（黒谷）
 - ▽短歌の部
【優秀賞】
前方に杖とたすきの光揺れ
歩行者ありとスピード落とす
新國由紀子（只見）
こうれい者夜の散歩は気をつけ
て、昼とちがった明るい服で
渡部瑠唯（福井）
 - ▽川柳の部
【優秀賞】

只見小学校が福島県教職員研究論文で入選

只見小学校（吉津和子校長）の教育研究が、福島県教育委員会主催の平成21年度福島県教職員研究論文で入選となりました。只見小学校は、国語科を研究主題とし、読解力や表現力を高め、読む力が重要とされる課題や自分の考えを伝えることに消極的であったり、発言しただけで考えの交流を図れなかったりする児童の実態などから、思考力・判断力の育成と主体的に表現する力を育成していく必要があると考え、児童が自分の考えを持つ「発問の精選・工夫」

や自分の考えを広げ深めることのできる「学び合いの工夫」などについて研究、さらに国語力を生かす教育活動として、読書活動の推進や表現活動の推進、学力向上のための取り組みなど、児童と一体となつて積み重ねた実践の成果が高く評価されました。



▲ 賞状を手にする吉津校長（左）

保護司に横山治夫さん



平成21年12月1日付けで横山治夫さん（楡戸）が、只見町担当の保護司として法務大臣の委嘱を受けました。

保護司は犯罪や非行に陥った人の更生の支援や、犯罪予防の啓発などを使命とし活動します。



▲ 左から酒井良彦さん、菅家吉次さん、新國由紀子さん、渡部瑠唯さん

かくれてるガンより怖い車事故
酒井良彦（坂田）



My
Town
Topics

2009・クリスマス会 今年もサンタさんが やってきたよ～!



12月15日は社会福祉活動センター「やまびこ」で、「こまどり会」と「たんぼぼの会」の合同クリスマス会が行われ36名が参加しました。ボランティアの協力により、五目ごはんをいただきながら、サンタさんからプレゼントをもらったり、ビンゴゲームで景品を当てたり、ジャンケン大会なども催され参加者は楽しく親睦を深めました。



12月17日は朝日保育所でクリスマス会が行われました。クリスマスにちなんだお話を聞いたり、歌をみんなで歌ったりしながら楽しんでると、サンタさんとトナカイが現れ、保育所児の拍手と喜びの笑顔で最高に盛り上がりました。一人ひとりプレゼントを受け取り、サンタさんを見つめながら握手をしました。心に残る最高の思い出ができました。



12月21日は明和地区センターで放課後子ども教室のクリスマス会が行われ、明和小学校1年生から4年生までの児童20名が、クリスマスケーキのトッピングに挑戦したり、プレゼントをもらったり、みんなで作ったケーキを食べながら、楽しいひとときを過ごしました。皆さんは、どんな楽しいクリスマスを過ごされましたか・・・。





▲ クリーンな地域を願いゴミを拾う明和小児童

明 地域をきれいにし隊！クリーン作戦 和小学校4年生と保護者が道路のゴミ拾い

総合的な学習の一環で、11月30日に明和小学校4年生9名と保護者3名、明和地区センター職員1名が学校周辺や小林、大倉地区の国道や県道沿いに落ちているゴミを拾う活動「地域をきれいにし隊！クリーン作戦」を行いました。ゴミ問題をテーマに地球温暖化やポイ捨てが与える自然環境への悪影響などを学習、そのなかで地域のゴミを拾いながら、ゴミの現状を見つめリサイクルの必要性や重要性を学びました。皆さん、ポイ捨ては絶対にやめましょうね。

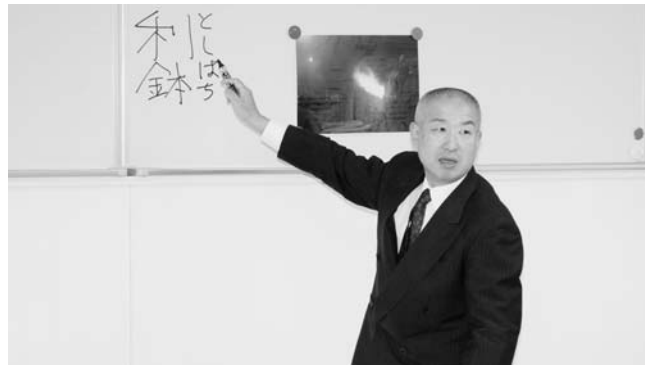
只 2009ふくしま・ふるさとCM大賞 見町のCMが優秀賞の「郷土愛賞」を受賞

KFB福島放送主催による「2009ふくしま・ふるさとCM大賞」に只見町もエントリーしました。今回は36市町村が参加、そのなかで只見町のCMが見事に優秀賞の「郷土愛賞」に輝きました。CMの制作は商工会青年部の皆さんが中心となり行い、ただみ・ブナと川のミュージアムをPRする只見の自然と魅力が表現されたユーモアあふれるCMとなっています。審査会は12月5日に郡山市で行われCMを制作された皆さんが出席されました。



▲ 賞状を手に笑顔の制作スタッフとKFBアナウンサー

宗 教育講演会 像窯八代目当主「宗像利浩」氏を迎えて



▲ やきものについて語る「宗像利浩」氏

12月11日に朝日小学校で、会津本郷宗像窯八代目当主「宗像利浩」氏を迎え、教育講演会が開かれ、保護者や先生など約60名が出席しました。「陶とこころ」と題し、やきものは使い手によって物の良さが引き出されるといった魅力や、もう後がない状況に追い込まれたとき人間は思わぬ力を発揮する、そして乗り越えたときに何か進化が見えてくるなどのやきものを通して得られた精神の向上、こころの鍛錬について講演されました。出席者は、やきものの奥深さを実感していました。

む そば打ち講座 ずかしかったけど、上手にできた？



▲ 真剣にそば打ちを体験する小学生

12月23日、只見地区センターでそば打ち講座が開かれ、小学生など14名が参加しました。講師は只見そば部会の皆さんで、参加者は、こねる、のぼす、切るの技術を丁寧に教えてもらいました。参加していた小学生は「のぼすときの力の入れ具合がむずかしい。切るときに手が痛かった。楽しい、またやりたい」などと感想を話していました。そば打ちの技術が次世代に継承されるといいですね。



12月の始め、私は県内の数人のALTと共に日本語能力検定3級の試験会場にいました。おそらく私の語彙力はまだ乏しく、合格できないと思います。自信が持てる解答が本当にわずかでした。このような形式の試験は初めてでしたが、どのようなものかを知ることができたことはよかったです。今回はこの形式に対する準備がよりよくできるはずで。試験の前日には飯館の友人の家に泊めてもらいました。夕食には近くの飯館牛専門店へ行きました。日本ではあまり牛肉を食べる機会がありませんでしたが、(イギリスで十分食べました)この日本において地域の特産を試みる事ができてよかったです。

今から二日後の帰国を前にとてもどきどきしています。昨年8月にイギリスを離れるとき、それほど寂しく感じませんでした。今回のクリスマスと新年を実家で過ごせることがとても楽しみです。今から滞在期間16日間の天気、食

べ物、人々、テレビ、そしてイギリスの文化にふれられる喜びでいっぱいです。近所のスーパーに行つて日本では買えない大好きな食べ物などを買いあさるつもりです。私の父は食べ過ぎて病気になるという注意してくれませんが、食欲を抑えられるか心配です。

イギリスのクリスマスは大変盛り上がりです。私が飛行機を降りた瞬間、クリスマスの熱狂に巻き込まれることでしょう。イギリスではクリスマスに向けて11月の半ばから過熱状態に入ります。ヒースロー空港ではノンストップでクリスマスソングが流れ、幻想的な明かりがともされ、ツリーが飾られ、サンタクロースやトナカイ、プレゼントで満たされます。買い物客は少し怖いくらいの形相でクリスマス用品を必死に買いあさります。クリスマスの日は厳かになるのですが・・・多くの人たちは家族とそれぞれの家で暖かく過ごします。そのようにしてイギリスのクリスマスはおひらきになります。

イギリスへの帰国はとても楽しく過ごせるだろうと思います。しかし、再び日本に戻っても同じような楽しみが待っています。今年もスノーボードの季節がやってきました。斜面を降りるのがとても楽しみです。去年同様、怪我をしないよう過ごしていこうと思いません。(訳・只見中・平野)

広報ただみ診療所

朝日診療所 所長 佐竹 秀一

「病気」と「元気」

只見も冬が到来し、寒い毎日が続いています。そんな中で定期外来に来る患者さんの表情ですが、元気な顔で診察室に入ってくる人、なんとなくどんよりした表情の人、今すぐ何か起きそうな、眉間にしわのよった人など様々です。

冬になって多く感じるのは、「病気ではないが、元気がない人」です。「膝・腰・肩が痛い」を筆頭に、「眠れない」、「食欲がない」、「オレは癌かもしれない」、「友達が〇〇病だからオレもきつとそうだ」、「一人で寂しいから入院させてくれ(眉間にしわ)」など訴えは多彩です。もちろんその中には本当の病気もあり、それを診察で調べるのが医師の仕事です。しかしながら、ほとんどの人は特に病気はなく、「大丈夫ですよ!」という言葉で表情が良くなり安心してニコニコ帰宅していきます。

WHOの憲章では「健康とは心身ともに元気な状態」と定義されています。つまり、病気が無くても心の元気がなければ健康ではない、ということになります。

心の元気は、環境や気もちのように大きく左右されるものです。雪が降るようになって、外でのグラウンドゴルフや農作業が無くなりました。家に閉じこもる日が多くなれば、人と触れ合う時間が少なくなり心の元気が下がってしまうようです。

その他、医師の言葉ひとつにも心の元気は左右されます。例えば健康診断で糖尿病が見つかったとしましょう。病院で医師に①「あなたは糖尿病です。ひどいですね。10年後合併症で死ぬから今から治療しましょう」と、②「今見つかつてよかったですね。10年後元気でいるように今から治療しましょう」、皆さんならどちらの方が励まされ、治療に積極的になるでしょうか?

何か目標を持って前向きに生活することが心の元気につながるのではないかと僕は思います。只見町は長寿の町です(男性は県内1位!)。ただ長生きするのではなく、体も、そして心も元気な「健康状態」で長生きできるよう、日々感動や生きがいを持つて生活してください。診療所も皆さんの寄り合い所のようになられるよう、工夫していきたいと思います。みんなニコニコ過せたら良いですね。

町史

とっておきの話

186

東洋大学講師

久野俊彦

高倉宮伝説と法印行鶴

榎戸龍藏院の高倉宮伝説と宝物

只見町には、高倉宮たかくらのみやもちひとおう以仁王が逗留したという伝説があります。以仁王は治承4年(1180)に平氏を討とうとして挙兵しますが、宇治川の合戦で敗れ討ち死にしたというのが史実です。ところが会津地方には、宇治川で敗れた高倉宮は、越後国おくに小国



法印行鶴の墓碑(右奥)

右馬頭うまのかみ頼光を頼って落ちのび、南会津に逗留して越後に入ったという伝説があります。榎戸の龍藏院は高倉宮が滞在した所だといわれ、「高倉宮御前靈社之縁記」「高倉宮御前ノ靈社塚記」(宝暦11年、1761)、「高倉宮御伝起」(安政6年写、1859)、「只見町史」(民俗編)、「高倉宮由来書並絵図面」(明治4年、1871)があります。

龍藏院の法印行鶴(1769〜1843)は、享和3年(1803)に、「榎戸村修験宗龍藏院書上」(「只見町史」資料編1)を記しています。そこに「宝物」として、九寸五分の「古身無銘物剣」(短刀)と「手取釜」(湯釜)を掲げ、

その二品は「高倉宮様より下さり置き候ふ品と申し伝え」てきたものだとい記されています。それに続けて記された高倉宮伝説は、「治承のころ、高倉宮茂仁親王、越後国小国右馬

頭頼光を御頼みとおぼしめし、中仙道、上野国より、会津檜枝岐へ御越しにて、当国へ御出あそばされ、南山大内辺、当郷伊北黒谷組長浜村に御住居の所、柳津の住人石川何がしと鬪戦あり。宮はひそかに榎戸村龍王院の所まで忍ばせたまひしを、いろいろ忠孝を尽くし、おかくまい申し、しばらく当院に御逗留ありし、その節、右の二品に、手取り釜一つ、九寸五分一腰、龍王院に下し置かせられ、代々持ち伝へ申し候ふ。」と記されています。龍藏院であつた山崎行弘家には、この湯釜と短刀が伝えられ、高倉宮の伝説を語る品となつています。

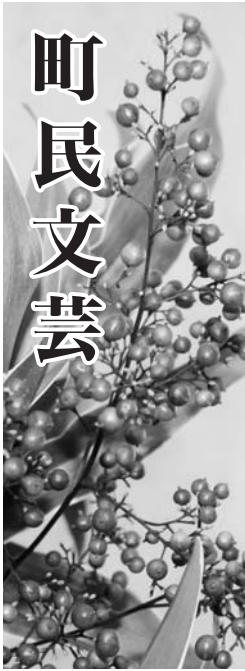
「高倉宮御伝記」には高倉宮が落ちのびた旅の物語が記されています。物語は現実の地名やモノ(品物)と結びついて伝説となります。高倉宮の物語が、榎戸に結びついていいることを具体化するためには、伝説に結びついたモノが必要になります。「高倉宮御伝記」その他の縁起類には、湯釜と短刀のことは書かれていません。これらの宝物は、行鶴の代になつて伝説を語るモノとして

創出された可能性があります。ほかにも行鶴は、不動明王の石仏を空海作として、その縁起を記しています。

行鶴による書物の収集

行鶴は龍藏院の蔵書287点のうち51点に、自分の名や雅号(左京・行鶴・乾林堂)を記入しています。16歳の天明6年(1786)に『秘法口伝』を写したのをはじめ、19歳で『修験行者伝記』を、20歳で『役君形成記』を写しています。26歳の寛政6年(1794)には京都に滞在して『役行者靈験記』を買って求めます。行鶴はほかにも多くの書物を求めて集めており、向学心の高さが知られます。さらに行鶴は、密教の説教の台本である『光明真言勸化』を作成しており、行鶴の説教の息づかいを今に知ることが出来ます。龍藏院の多くの蔵書は、高倉宮伝説の由緒に支えられ、向学心を持つて学んだ法印によって形成され、保持されてきたのです。

持たされてきたのです。



町民文芸

只見短歌会

十一月詠草

大塚栄一

指導

インフルエンザの孫に届きし担任の篤き手紙を家中で読む

古川 英子

無差別に物捨てをればもったいなし戦前戦後を生き来し我は

齊藤ちひろ

年ごとに姉妹に里の新米を送る息子らに頭下るも

吉津 政枝

保育所の子供ら踊る歌舞伎舞余りのうまさに涙出できつ

五十嵐夏美

長き冬の訪れ近き小春日に痛き膝庇ひ冬囲ひ急ぐ

馬場 八智

浅間山噴火の溶岩凄まじく今も煙の立つを見上ぐる

渡部ゆき子

男手のなくて庭木の数も減り細木余れど貫ひ手もなし

皆川 恒子

湯揉みして二人の孫を抱き入れる夫は痛みを忘れるらしき

目黒 富子

亡き父母の温き背中を思ひをり若く逝きしを今も悔まる

渡部ヨリ子

この秋に夫を亡くして独り住む淋しき友よ電話の長し

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

十二月例会

目黒十一

指導

立冬や村の総出の堰普請
模様のごとトマト落ちしを冬耕す

郁子

石燈籠奉納済ます冬初め
白壁の家並配して柿熟す

修一

粉じらみ執念深く冬薔薇
黒ずんだ蛙飛び出す池普請

一灯

ころぶなよ風邪引くなよと人の声
膝と手で体ささえて実南天

邦男

躊躇わず三年もの日記買う
古時計はずせし柱冬に入る

又壺歩

日のありて雨脚ひかる鴨の池
峠路のあらたな墓碑や冬紅葉

恒夫

雪吊や水音絶えぬ御薬園
一年の農事畢んぬ紅葉鍋

吉児

選別の豆をころがす夜長かな
稲架用の細木刻めり十二月

隆堂

霜夜更く妻のいびきの安らかに
アンケートすべてを丸に小六月

邦夫

写真家のつと立ち上がる大枯野
門衛の迷彩服や冬茜

笑羊

田仕舞や演芸会に招かれて
冬枯るる人影の無き村の中

リウコ

針箱とともに老いゆくちゃんちゃんこ
はげましてはげまされ居て日向ぼこ

康女

銀杏落葉ブランコゆらし留守を待つ
川音や空青々と冬ぬくし

都

冬に入る一週間の鍋づくし
入口を狭くせまくと冬に入る

一穂

初雪や葦原揺れもせず立ちて
夕焼を映す大池冬に入る

洋子

小春日や町の記念樹梅植うる
鳥の声流れ見回す枯るる中

敦子

横山に越後嶺つづき神渡
しぐるるや小屋に水車の外されて

礼

今月のお知らせ

電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
	☎82-5210
企画班	☎82-5220
町民生活課	
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-8120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
訪問看護ステーション	☎84-2130
	☎84-2101
こぶし苑	☎84-7005
保健福祉センター	☎84-7005
只見地区センター	☎82-2141
朝日地区センター	☎84-2111
明和地区センター	☎86-2111

税 今月の納期

- 1月25日までに納めましょう
- 町県民税(4期)
- 固定資産税(4期)
- 農集排使用料(1月分)
- 長寿医療保険料(6期)

RECRUITMENT

募集

保健師等をめざす奨学生

只見町では、将来町の施設で業務に従事しようとして、次のような職種をめざす方に対して奨学資金を貸与します。

●対象となる職種・条件

保健師、助産師、看護師、放射線技師、理学療法士、作業療法士

※法に基づき指定された前項の職種の養成施設に在学または在所し、国または他の団体から同種類の奨学金の貸与を受けていない方

●貸与額

月額10万円以内

●奨学資金の返還及び免除規定

▽奨学資金貸与条例により原則として10年以内に返還。
▽ただし、資格取得後直ちに町の機関に就職し、その後引き続き10年以上当該業務に従事したときは返還の債務が免除されます。

●申し込み手続き

奨学資金貸与申請書に住民票抄本・履歴書・健康診断書等を添えて保健福祉課に提出してください。
用紙等は申し込みのあった方に直接送付しますので、保健福祉課にご連絡ください。後日必要書類を提出していただくこととして、進学予定の方も受け付けます。

●募集期間

平成22年2月26日まで

▼問い合わせ

保健福祉課保健班
☎0241-8417005

放送大学 4月生募集!

放送大学では平成22年度第1学期(4月入学)の学生を募集中です。

放送大学はテレビ等の放送を利用して授業を行う通信制の大学です。
心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

働きながらの大学卒業やキャリアアップ、退職後の生きがい作りなど、様々な目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。

○15歳以上の方なら、1科目から学習する選科履修生・科目履修生として入学できます。

○18歳以上の大学入学資格をお持ちの方なら、無試験で全科履修生として入学でき、4年以上在学して、124単位を

修得し卒業すると、学士(教養)の学位を取得できます。○一つの分野を体系的に学びたい方には「放送大学エキスパート」を実施しています。

さらに専門的に学びたい方には、大学院も併設しています。資料を無料で差し上げています。お気軽にお問い合わせください。

▼出願期間

平成22年2月28日まで

▼資料請求・問い合わせ

放送大学福島学習センター
☎0241-92117471
ホームページ
<http://www.u-air.ac.jp>

平成21年度 NHK学園受講者

NHK学園では、生涯学習通信講座の受講者を募集しています。

●募集内容

▽生涯学習通信講座

NHK学園には、趣味・教養から語学・資格まで、幅広いジャンルの講座が200コース以上あります。通信講座で新しい趣味・スキルを身につけてみませんか。

●受講期間

3ヵ月〜1年

(講座によって異なります)

●募集対象 一般

●申込方法

ご請求により案内書を送付。電話・FAX・ホームページから申し込み可能。

●募集期間

通年申し込み受付

▼問い合わせ

NHK学園
☎042157213151
案内書請求フリーダイヤル
☎012010618881

「国際生物多様性年」記念シンポジウム

「只見の生き物たちがもたらす森の恵み」

●とき
平成22年1月23日(土)
午後1時30分～4時30分

●ところ
季の郷・湯ら里【入場無料】
☎024118412888

わたしたちの暮らしは、さまざまな生き物たちがいることによつて成り立っています。しかし、わたしたちの活動によつて地球上にすむ多くの生き物たちが絶滅の危機にあります。いま、わたしたちに課せられた使命は、あらゆる生き物たちの遺伝子を残し、生息場所を守っていくことです。これは、地球で持続的に暮らすため、そしてわたしたちの子孫のためでもあります。

2010年は、国連の定める「国際生物多様性年」の年です。また、2010年10月には、「国際生物多様性条約締約国会議(COP10・コップテン)」という国際会議が名古屋で開催されます。

只見町は、国内最大級と言われるブナ天然林をもち、絶滅危惧種や天然記念物に指定されているカモシカ、イヌワシ、ユビソヤナギなどが数多く生息する町として知られ、「自然首都・只見」を宣言しています。

このシンポジウムは、釣りや山菜・キノコ採りなどを通じて森林の生物多様性が人々の暮らしにどのような恩恵をもたらしているのかを確認し、里山としての森林利用のあり方を探りながら、只見の自然の貴重性を検証するものです。

●基調講演

「森の恵みと生態系サービス」
(吉田謙太郎・長崎大学環境科 学部教授)

●調査報告

「只見の森と人々の暮らし」(新国勇・只見の自然に学ぶ会代表)／「里山林の多様な生き物たちの働き」(田中浩・森林総合研究所九州支所チーム長)／「溪流魚と森林のかかわり」(吉村真由美・同関西支所主任研究員)／「山菜とキノコがもたらす森の恵み」(松浦俊也・同森林管理研究領域特別研究員)／「只見の自然はなぜ貴重か」(杉村乾・同国際連携推進拠点主任研究員)

●ディスカッション

「只見の生き物たちがもたらす森の恵み」

▼問い合わせ

総務企画課企画班
☎024118215220

就学する学校の変更要件について

就学する小・中学校は、「只見町公立学校の通学区域に関する規則」によって指定されていますが、保護者からの申請によって通学区域外の学校に就学することが可能となっております。変更の具体的要件について下記の通り定められたのでお知らせいたします。

■指定変更の要件

区 分	理 由
住所移転による理由	・学年途中の転居等により指定校が変更になるため、学期末まで現在の学校に通学したい場合 ・家の新築など転居が明らかであるため、あらかじめ転居先の学校に通学したい場合
身体的な理由	・肢体不自由や病弱等の理由により通学に配慮が必要な場合
教育的な配慮の理由	・いじめや学校生活の不応など、やむを得ない事情により指定された学校を変更したい場合
その他の理由	・その他教育委員会がやむを得ないと認めた場合

■手 続 き

指定した様式により只見町教育委員会に申請します。なお、教育委員会(☎82-5320)までお問い合わせください。

只見町教育委員会

町 長 室 日 誌

〈 1 2 月 分 〉

- 1日 教育委員会委員辞令交付式、滝湖調整池堆砂対策連絡協議会の事前協議、新教育長就任式、予算査定
- 2日 町戦没者追悼式、予算査定
- 3日 地域交通会議
- 4日 滝湖調整池堆砂対策連絡協議会
- 7日 県道小林・館の川線改良促進期成同盟会要望活動
- 9日 目黒紘氏叙勲の報告に来庁、只見町区長連絡協議会目黒彰一氏来庁、新任保護司横山治夫氏他来庁
- 10日 奥会津五町村活性化協議会役員会、只見川電源流域振興計画策定委員会
- 11日 庁議(一般質問検討)
- 14日 雪むすめ辞令交付式
- 15日 12月定例議会開会
- 22日 菅家作弥氏叙勲伝達式、N T T会津支店長来庁、福島県総務部長谷川次長、会津地方振興局長及び南会津地方振興局長来庁
- 24日 福島県立医科大学へ出張
- 25日 水田農業施策に係る緊急要望にJ A会津みなみ組合長他来庁
- 28日 平成21年仕事納め式、(広域消防只見出張所、於診療所・こぶし苑・あさひヶ丘、於役場、於西部環境衛生組合)

町民の消息

(12月1日～12月28日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

船 木 慎之介 (しんのすけ)
 (男/ 智・舞) 黒 谷
 矢 沢 菜 (しおり)
 (女/ 悟・由香) 塩 沢
 湯 田 桃 杏 (ももあ)
 湯 田 桜 杏 (さくあ)
 (女/ 隼人・真希) 只 見

■ご結婚おめでとうございます

黒 谷 高橋 裕希 ♡ 真希
 (旧姓：梁取)

■おくやみ申し上げます

酒 井 千 鶴	96	長 浜
山 中 ユキ子	85	小 川
横 山 カクイ	95	楢 戸
菅 家 忠 義	95	布 沢
新 國 賢 二	49	只 見
渡 部 一 士	66	小 川
室 井 ヤ イ	82	長 浜
河原田 ハナヨ	92	梁 取
目 黒 良 子	75	小 林
菅 家 トクノ	101	黒 谷
川 井 和 夫	57	黒 谷
渡 部 隼 人	28	小 川

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成21年12月1日現在

人 口 5, 0 3 1 (0)
 男 2, 4 0 0 (+ 1)
 女 2, 6 3 1 (- 1)
 世帯数 1, 9 0 3 (- 1)
 高齢化率 4 1. 5 %

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 4 転出 3 出生 1 死亡 2

町民憲章

- 1、 ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、 互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、 産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、 教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、 きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

地区センター主査
 五十嵐 貴則

只見地区センター
 図書室 ☎82-2141

おすすめ新着図書

★1Q84



村上 春樹/著
 (新潮社)

スポーツインストラクターであり、同時に暗殺者としての裏の顔を持つ青豆を主人公とした「青豆の物語」と、予備校教師で小説家を志す天吾を主人公とした「天吾の物語」が交互に描いた村上春樹の長編小説です。

★八日目の蟬



角田 光代/著
 (中央公論新社)

逃げて、逃げて、逃げのびたら、私はあなたの母になれるのだろうか。理性をゆるがす愛があり、罪にもそそぐ光があった。角田光代が全力で挑む長篇サスペンス。

★図書室に関する要望や購入図書の希望など、お気軽にお寄せください。

あとがき

▽新年、明けましておめでとうございませう。本年もよろしくお願ひいたします。今年一年が町民の皆様、只見町そして町に関係される皆様にとつて輝かしい一年でありますことをお祈りいたします。▽今年の只見の冬は12月のスキー場オープンの時と年末年始にまとまった降雪があり1月上旬としては雪が多いように感じます。大雪の年？なのでしょう。▽年頭から福島県出身の選手が各駅伝大会で大活躍しました。チームの勝利を信じ全力を出し切る姿は感動を呼び元気づけられます。今年も頑張ります。

雪むすめ



※この広報紙は再生紙を使用しています

雪まつりには、欠かせない「雪むすめ」。来場者をあたたかく迎え、期間中
行われるイベントをやさしい笑顔で盛り上げ、支えてくれる。今年は、さわ
やかな笑顔が印象的な、有田真弓さん(左)と目黒由貴さん(右)が、会場内を
案内してくれる。



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

イベントカレンダー

1月

● 24日(日)

「第37回只見毎日杯
ジャイアントスラローム大会」

2月

● 13、14日(土・日)

「第38回只見ふるさとの雪まつり
・・・只見駅前広場」

▼只見駅において、青豆、黒豆、
小豆、打ち豆、もち米などを揃えて
販売しています。町民の皆さんも出
品してみませんか。詳しくは、お問
い合せてください。

▼問い合わせ
只見町観光まちづくり協会
☎0241-821-5250

営業時間 午前8時半～午後6時